



議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 1 日（日） 14：00～15：20
開催場所	桜ヶ岡中央会館（大広間）
参加人数	7 人
出席議員	月田光明副議長 酒巻勝美議員（座長・議会運営・民生福祉） 草島守之議員（総務文教） 佐藤勝秋議員（経済建設・石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：学校耐震化事業に関し、PFIについて説明願いたい。</p> <p>答：民間の資金等を活用して耐震化事業を行うもので、早期の着工が可能となり、かつ債務の平準化により市の負担が軽減されるなどの効果が期待できるものである。</p> <p>問：高齢者のバス券助成について、バス券は利用しにくいので、タクシー券や灯油券など、利用しやすいものに変えることができないか。</p> <p>答：タクシー券については、議会でも議論された経過があるが実現には至っておらず、現在は回数券と定期券によるバス券で助成している。灯油券というのは助成の性質が異なるが、ご意見として承りたい。</p> <p>問：北大通の活性化のため、大通の片側車線を駐車場にすべきと考えるが検討できないか。</p> <p>答：駐車場は難しいと考える。中心市街地活性化についてはさまざまな議論をしているが、地権者の関係もあり方向性が見出せていない。現在、まちづくり会社で核となるビルの設立に向けて計画を進めているところである。</p>
議会への要望	1 公共施設等の建設は必要最低限に止め、市民生活に密着する行政サービスに予算を活用してほしい。

	<p>2 市は約 2,000 億円の借金があると聞いたが、第二の夕張市にならないようにしてほしい。</p> <p>3 医療費の抑制のためにも、介護保険の活用によって、安心して自宅で介護し、なるべく病院にかからなくてもよい環境づくりをしてほしい。</p> <p>4 中心街のにぎわい創出のため、釧路駅からロータリーまでをマラソンのコースに組み入れてほしい。</p>
市への要望	<p>1 茅野公園付近の選挙ポスターが選挙終了後も掲示されており、風が強い日に飛ぶなどして危険であるが、対処してほしい。</p> <p>2 白樺地区は生活保護受給者が多いが、受給者間でお金の貸し借りや、パチンコ通いをしている人もいると聞く。受給者は医療費も無料で、年金とほぼ変わらない額をもらっており、不公平感をおぼえる。生保受給者の実態をしっかりと調査してほしい。</p>

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 1 日（日） 14：00～15：30
開催場所	芦野会館（大広間）
参加人数	7 人
出席議員	黒木 満議長 鶴間秀典議員（座長・議会運営・経済建設・石炭対策） 秋田慎一議員（総務文教） 梅津則行議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：これからサンマ漁の時期になるが、安心、安全な釧路のサンマを全国に売り込むためにも、釧路の水産物についての放射能の検査体制はどうなっているのか。</p> <p>答：学校給食については、市独自で機器を購入し、食材の検査を毎日行っている。水産物については、道が月 1 回程度の検査を行っていると聞いているが、市では検査していない。</p> <p>問：4 年前に廃止にした政務調査費による海外視察を、このたび復活したのはなぜか。</p> <p>答：市の経済交流等で、ベトナムや台湾との交流が盛んになっており、今後とも市が国際化を進める中で、議会として議員の海外訪問も必要になってくるため、今回実施できるものとした。政務調査費は、会派の活動に対する助成であり、年度ごとの使用状況の公表も行っている。海外視察に利用する場合は、事前に代表者会議の了解を得ることになっており、市民の理解を得られるよう努力していきたい。</p> <p>問：道より、津波シミュレーションが発表されたが、釧路市がどのようにしようとしているのかが、見えてこないがどうか。</p> <p>答：6 月議会の中でも取り上げたが、市としては道のシミュレーションが発表されてから、防災についての本</p>

	<p>格的な取り組みを進めることになっているため、今後の議会等で、市側から報告があると思われる。そこでしっかりと審議を行いたい。</p> <p>問：東日本大震災の震災瓦れきを受け入れないのか。</p> <p>答：議会の中でも意見が分かれている問題である。今後とも関心をもって、取り組んでいく。</p> <p>問：市の除雪の体制はどうなのか。</p> <p>答：市道では10センチメートルの降雪で除雪車を出動させることになっているが、今後は、10センチメートル未満でも、天候状況によって柔軟に対応することとなった。</p>
議会への要望	<p>1 児童館等の除雪については、予算がついてないと聞いているが、女性が多い職場であり、除雪についての対策を検討してほしい。</p>
市への要望	<p>1 水産物に対する放射能測定について、市から道へ回数を増やすなど、もっと測定の精査に努めるよう要望してほしい。</p> <p>2 市の防災対策について、災害時には市や道の施設の区別なく、速やかに避難できるようにすべきではないか。</p> <p>3 除雪について、交差点等の雪山を排雪してほしい</p>

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成24年7月2日（月）14：00～15：30
開催場所	鉄北みどり会館
参加人数	8人
出席議員	月田光明副議長（石炭対策） 大島 毅議員（座長・議会運営・経済建設） 三木 均議員（総務文教） 金安潤子議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：特別養護老人ホームが690床となっているが、これにより待機の人がどのくらい満たされることになるのか。</p> <p>答：平成24年2月で要介護4・5の待機者が137名おり、現在はもっと増えていると思う。690床になることで40名が入所可能になる。</p> <p>問：フィットネスセンターの跡利用について、にぎわいを作っていくことを考えているとあるが、どんな内容なのか。</p> <p>答：指定管理者に年間7,000万円支払っており、負担が重いということで廃止となった。維持管理費がかからないように立地条件・ロケーション・空間を考え有効利用していくことなど、市民の各界の人に集まってもらい、意見を聞こうと市民委員会を設置し、今後検討されることになっている。</p> <p>問：フィットネスセンターの跡利用について、廃止が決定してから今後どうするのかという議論では遅い。具体的な案は示されなかったのか。民間では、廃止と同時進行で進めていかなければならない。</p> <p>答：存続、廃止に関していろいろな議論があった中で、跡利用を考えた上で廃止にしないのかという議論もあった。</p>

問：M O Oの近くに住んでいる人にとって、避難場所となることについて考え方を聞いたのか。津波に向かって逃げるということにはならないのではないのか。

答：M O Oの従業員や観光客などが上の階に上がることを想定している。また、先日、道から新たな津波についての想定が発表されたばかりである。相当高い津波が来るという想定であり、津波到達時間も考慮し、市はこれから防災計画を見直さなければならない。今後、河畔や河口地域の避難についても議論していきたい。

問：石炭対策特別委員会は、他の地方自治体にはあるのか。

答：釧路だけである。石炭に関するエネルギーについての議論を行っている。日本の坑内掘りの炭鉱は、釧路コールマインだけである。日本のエネルギー源としての石炭は99%輸入しており、海外から安定して輸入するために、コールマインがもつ採掘・保安・その他の技術をベトナムや中国などに教えているのが現状である。その石炭に関することをこの委員会で議論していることが大事であり、やめたら釧路も見切りをつけたと、間違ったメッセージを送ることになってしまう。

問：原発の是非について市議会としての意見はどうか。

答：今まで、市議会として原発をやめるなどの決議をしたことはない。原発そのものについて賛成か反対かを市議会としての意思表示をしたことがないということであり、議論していないわけではない。2月・6月議会でも17都県の学校給食の食材については市も独自で放射能物質の検査をしていること、震災瓦れきの受け入れについては、放射能汚染されていないもので

	<p>あればいいのではという議論、特に一次産業への風評被害における懸念がぬぐえないため、震災瓦れきは受け入れるべきではないといった議論があった。</p> <p>問：消費税増税について、賛成ということなのか。</p> <p>答：市民から市議会として増税に反対だということを国に要望してほしいという陳情書が市議会に提出され、賛成や反対、態度を保留する会派もあったが、最終的には、多数決でこの陳情は不採択となった。</p> <p>問：昨日の佐藤議員の遅刻の理由を聞きたい。</p> <p>答：佐藤議員は会議時間の失念で出かけていたことを会場で陳謝した。その日の報告会が終わった後に注意をしたところであり、本人は深く反省している。今後このようなことがないように厳しく戒めたい。</p>
議会への要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インセンティブ、マルチメディアデイジーなど片仮名表記が多く、意味がわかりづらい。</li> <li>2 出席議員の紹介をしてほしい。</li> <li>3 昨日の佐藤議員の遅刻したことに関して、議長、副議長からおわびの言葉をあとがきで載せたほうがよい。</li> <li>4 石炭対策特別委員会をエネルギー対策特別委員会にしてはどうか。</li> </ol>
市への要望	—



議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 2 日（月） 14：00～15：30
開催場所	昭和会館（大広間）
参加人数	4 人
出席議員	黒木 満議長 菅野 猛議員（座長・議会運営） 渡辺慶藏議員（総務文教） 鶴間秀典議員（経済建設・石炭対策） 酒巻勝美議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：観光について、避暑地としての受け入れや釧路の夕日など取り組まれているが、もっとPRをしていくべきではないか。</p> <p>答：夏場の長期滞在者の誘致を図るため、釧路は日本一涼しい町としてPRしており、日本一暑い町としてPRしている埼玉県熊谷市のホームページに情報を掲載している。また、今年はマリモとタンチョウの特別天然記念物指定60周年であり、これらのPRも併せて行っている。</p> <p>問：瓦れき問題について、市は受け入れを拒否しているが、今後釧路が災害で他地域にお世話になるということもあろうし、それでよいのかと疑問に思うがどうか。</p> <p>答：瓦れきの受け入れについては、市としては放射線量がなければ可としているが、国では暫定基準値をもって受け入れを求めているため、応じられないとしている。また、農林水産物に対する風評被害は絶対に避けなければならないという姿勢で対応している。</p>
議会への要望	1 高齢者のバス券助成制度があるが、有効に使われていない実態もある。限られた予算なので、高齢者福祉よりも子育て支援や教育関係で使ってもらいたい。

<p>市への 要望</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 報道にあった道の大津波予測図を受け、早急な対策をお願いしたい。</li> <li>2 先日運動会当日に雨が降り、先生や保護者がグラウンド整備を行ったが、水はけが悪く苦慮した。予算の関係上難しいと聞いているが、市での整備の検討をお願いしたい。</li> <li>3 学校の耐震化に関し、道の津波シミュレーションを受けて、建物自体を高く設置することはできないか。</li> <li>4 少子化の中、4人の子どもを持つ保護者もあり、塾に行かせるにも負担が大きく大変だと聞いた。子どもが多くいる家庭への補助的な対策はとれないか。</li> <li>5 土曜日に仕事がある親も多く、以前のように土曜日を学校登校日とすることはできないか。</li> <li>6 生活保護について、受給者の増加に伴って市民負担も増えてきている。本当に困っている人に対する支給とするよう基準の見直しをしてもらいたい。</li> <li>7 民生委員をしているが、地域で子どもに関する問題が生じた際、休日の夜間で市の担当者と連絡がとれずに私に対応した。市とうまく連携できる方法はないか。</li> <li>8 サイクリングロードの草刈りについて、道と市で管理する部分が異なるため、刈り残しや不均一な刈り方となっている。市と道で日程を合わせるなどできないか。</li> <li>9 仁々志別川河畔は、草が相当伸びた状態で不法投棄の温床となっており、対策をお願いしたい。</li> </ol>
-------------------	--

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 3 日（火） 14：00～15：20
開催場所	橋南西会館（大ホール）
参加人数	9 人
出席議員	月田光明副議長 高橋一彦議員（座長・議会運営・経済建設） 三木 均議員（総務文教） 続木敏博議員（民生福祉） 草島守之議員（石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：今年も路線価が下落し、釧路町との差が縮まった。そのうち、釧路市が釧路町に吸収されるのではないか。</p> <p>答：釧路町は商業施設が多い地区のため、地価の下げ止まりにつながっていると考える。公共施設や生活基盤整備などの面で、釧路町は釧路市と一体の部分が多く、ご指摘の事態は起こりにくいととらえている。</p> <p>問：北大通の活性化策として、釧路駅の高架化の話があったが先が見えていない。また、北大通の再開発事業も取り組まれているが、状況は一進一退しているように思える。</p> <p>答：中心市街地の厳しい状況を踏まえた中で、駅の再開発は現在棚上げとなっている。駅の高架化が津波に対してどういう効果をもたらすかを含め、今後も議論していかななくてはならない。また北大通の再開発も、地権者の関係もあって進んでいない状況で、これからも議会として議論していかななくてはならない。</p> <p>問：津波対策として、釧路川に堤防が必要と考える。</p> <p>答：防波堤は道の管轄であり、道に対し要望できるか委員会の中でも議論していきたい。</p> <p>問：特別養護老人ホームについての報告があったが、民間の施設では金額が高く、また待機者数も多いため、</p>

	<p>なかなか入所できない状況にある。学校の統廃合による空き校舎を活用することで、安価で待たずに入所できる施設を、市として整備できないか。</p> <p>答：特別養護老人ホームをもっと増やすべきとの声もあるが、そのためには介護保険料が非常に高額になってしまう。また介護保険は国の制度で、市が自由に整備できるわけではない。学校の再利用は、補助金の関係もあり教育施設に限られることになるが、研究・検討の余地はあると考える。</p> <p>問：事業仕分けについて、本来、事業の適否は議会に諮られるべきものと思うが、なぜか「仕分け」という形が先行してしまっている。議会との関係はどうなっているのか。</p> <p>答：事業仕分けは、市の事業を多くの市民に知ってもらうことを目的に行うとのことである。判定結果はあくまで参考意見として聞き置き、市として必要があれば議会に諮るものであるが、誤解を招きやすい構造であり、3年間実施したいという市長の強い意向により実施している。仕分け結果イコール結論ではないということで、ご理解いただきたい。</p> <p>問：地熱発電について報道されているが、市としてはどのような考えを持っているのか。</p> <p>答：阿寒湖畔での地熱発電開発については、地元の反対もありストップしている。また国において、温泉水を再利用したバイナリー発電導入の可能性も検討されており、いずれ議論が始まるものと考えている。また釧白工業団地において、メガソーラーパネル(大きなスケールの太陽光発電)進出の予定もあり、今後具体的に進められるものにとらえている。</p>
<p>議会への 要望</p>	<p>—</p>

市への 要望	<ol style="list-style-type: none"><li>1 道の津波浸水予測図が発表されたが、当地域は、避難所であったシーサイドホテルが現在閉館しており、地域としての対策が必要と考えている。</li><li>2 先に市政報告会で、『市役所6つの改革』というものが示されたが、当たり前なのが市役所の中で実行されていないのかと感じた。</li></ol>
-----------	---

議会報告会開催概要（阿寒地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 3 日（火） 14：00～15：00
開催場所	阿寒湖まりむ館（研修室）
参加人数	2 人
出席議員	黒木 満議長 土岐政人議員（座長・議会運営） 畑中優周議員（総務文教・石炭対策） 松橋尚文議員（経済建設） 松永征明議員（民生福祉）
質疑応答の内容	問：「市立阿寒病院について介護療養病床の継承が法的に認められない可能性がある」とは、どういうことか。 答：平成 18 年の法の改正により、介護療養病床を新しく作る場合や経営が新しい法人に移る場合、継続が認められないということからの質問である。 問：「インセンティブ制度を構築し、外来船誘致を図るべきこと」とあるが、それはどういうことか。 答：釧路沖で漁をする東北などの外来船が、釧路港にて水揚げしてもらえるよう、利用料金を安くするなどして利用を促進してはどうかという質問である。
議会への要望	1 現在、阿寒湖のマリモの世界遺産登録申請に向けて準備を進めているが、議会としてもぜひ協力してほしい。 2 阿寒湖畔への観光客、長期滞在者の誘致に向けて、協力してほしい。
市への要望	1 合併前は、阿寒湖畔の子どもたちがクラブ活動で釧路地区に行く場合、バス運行などの助成があったが、合併後はそのような助成がなくなった。阿寒湖畔地区の差別化を図ってほしい。

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 4 日（水） 14：00～15：00
開催場所	貝塚会館（大広間）
参加人数	4 人
出席議員	黒木 満議長 戸田 悟議員（座長・議会運営・経済建設） 松尾和仁議員（総務文教） 上口智也議員（民生福祉） 石川明美議員（石炭対策）
質疑応答の内容	問：市民球場について、プロ野球公式戦を呼べるように改修を行うべきでないか。 答：オープンから 30 年経過した施設で、大規模な改修を行うのは難しい。最低限の補修は行うよう強く求めている。 問：震災瓦れきの受け入れは、風評被害が出ることで反対しているのか。釧路も同じように津波の被害にあった時にどうするのか。 答：瓦れきを受け入れしない最大の理由は、国は当初、放射能に汚染されていない瓦れきを対象としていたが、汚染の可能性のある瓦れきも対象に含めると方針を変えたためである。また水産業界でも、震災以降、北海道や東北地方の水産物が売れなくなる等の影響があった。
議会への要望	—
市への要望	1 公園のトイレで閉鎖されているところがあるが、外で用を足す人もおり、必要なところは開けてほしい。 2 貝塚東公園周辺の不法投棄がひどく、草を刈るなど投棄を誘発しにくい環境づくりをしてほしい。

議会報告会開催概要

開催日時	平成 24 年 7 月 4 日（水） 14：00～15：40
開催場所	新橋会館（大広間）
参加人数	14 人
出席議員	月田光明副議長（石炭対策） 秋田慎一議員（座長・議会運営） 山口光信議員（総務文教） 村上和繁議員（経済建設） 宮田 団議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：広報くしろに市の財政状況が掲載されたが、人口が仮に 1 年に 1,000 人ずつ減ると、180 年で釧路市はなくなってしまう。人口推計が財政の展望にどのように反映されているのか心配であるがどうか。</p> <p>答：市の人口は 11 万人まで減り、それ以降は同程度で推移するとの推計もある。11 万人になれば公債費負担が重くなることは確かである。市は、確実に市債残高を減らすため「返す以上に借らない」原則で財政運営している。次世代の負担を減らすことは、最優先に取り組むべき行政課題であり、議会においても、市民サービスの低下を招かないことに配慮しつつ、時代変化に対応した不断の見直しを行うよう、財政運営についてもチェック機能の責任を果たしていきたい。</p> <p>問：防災に関し、海拔表示などは、道の津波シミュレーションが出なくてもできるのではないか。</p> <p>答：海拔表示は、24 年度中に主要ポイントに表示することになっている。また、津波襲来時の避難については、今回の道のシミュレーションで相当高い津波の予測となり、これまでの計画の抜本の見直しが必要となっている。今後、10 万人が 30 分以内に避難できる場所と経路の確保の検討と、それに基づいた訓練を行ってい</p>



くことになると思う。

問：地域住民が保育所や児童館と一緒にになり市営住宅を避難先とした避難訓練を実施したが、このような取り組みに対し市の防災担当部署の関わりはないのか。

答：市では、東日本大震災以前からモデル地区において、災害時の要支援者をリストアップし、訓練を実施している。市がPRしているが、モデル地区として手を挙げた地区には市が関わっている。

問：市役所の裏に防災まちづくり拠点施設を建設するというが何のためか。津波で1～3階は水没してしまう。

答：市役所庁舎の電気系統と電算データを上階に移転し守るための建物であり、最大5メートルの津波を想定してのものだが、今回のシミュレーションの津波は9.5メートルであり、国・道の補助金の関係も整理の上で再検討が必要になっている。

問：消防署の現場まで防災関係の情報がなかなか伝わっていないように感じるがどうか。また、去年の大津波警報の際に沿岸部でも避難しなかった市民が多くいたとのことであり、足が不自由で避難できなかった人もいたと思うがどうか。

答：市の防災計画は総務部の所管であり、消防は防災会議の一構成機関の位置づけである。組織的には防災計画について答えられるのは総務部となっている。また、災害弱者の避難については、市では地域ごとに対象者をリストアップし地域との協議を進めている。

問：消費税増税に反対する意見書案が否決になったが、8%や10%になると市民生活がどうなるか理解しているのか。ほとんどの病院が赤字になりつぶれてしまうおそれもある。国保や介護保険も保険料が上がり、年金から引かれ、本当に生活に困っている人が多くいる。

答：意見書案は、2月定例会で継続審査、6月定例会で

過半数が反対し否決となり、全員が反対ではなかった。消費税増税については、各会派・党派でそれぞれの地域や支援者への説明責任が求められるものと考えている。

問：フィットネスセンターの跡利用として津波避難施設とする考えが示されている。M O Oは、津波襲来時にエレベーターに水が入らないよう、設備を手動で設置することになっているが、手動で対応できるとは考えられないし、中が迷路のようになった川沿いの施設を津波避難施設に位置づける考え方は理解できないがどうなのか。

答：市では、これまで想定された相当規模の津波に対応できるM O Oのテナントや来館者等の避難施設としての活用を検討したものと理解している。道のシミュレーションを待ってもよいのではないかとの意見もあったが、今後、災害時だけでなく、日常のにぎわいの創出について、市民委員会の意見も聞きながら検討が始まっていく。議会においても、今後は新たなシミュレーションに対応した議論が進んでいくものと認識している。

問：都市経営戦略プランに対し議員個人としてどのような感想を持っているか聞きたい。

答：市の成長戦略に関し、市長がこれまで市民とともに市政を推進してきた中から得たものとして、具体的な方向性や方策をいくつか示してほしかった。それがなく、今後、市民の声を聞いて検討し、まとめていくということについては残念に思う。

問：震災瓦れきを受け入れない理由は風評被害が第一にあるようだが、苫小牧が受け入れれば、同じ沿岸の釧路では風評被害から逃れることはできなくなるのではないか。風評被害を最初に言うことが、東北の人たち

	<p>の心にどのように伝わるか考えてほしい。給食は福島県産でも検査して安全であれば口に入れてもよいとしているが、一方で瓦れきは放射性物質を含む可能性があるから受け入れないと判断するのはどのようなことか説明してほしい。</p> <p>答：議会では、受け入れに賛否両方の立場から質問があった。国では瓦れきに8,000ベクレル以下の放射性物質が含まれることを想定しており、実際に岩手県と宮城県の瓦れきには放射性物質が含まれている事実がある中では、農産物、水産物等の生産都市としては受け入れない、また、市民の安心安全を第一としたときに、自然界にある放射線量以上の放射性物質は持ち込まないというのが市の答えであった。学校給食の食材については、市民の安心のために6月から1都16県産の青果物を検査し、ホームページで結果が公表されている。</p> <p>また、瓦れきの受け入れについては、地方自治体に最終判断が求められていることに問題がある。市が受け入れずとも近隣で受け入れれば風評被害が懸念され、一自治体で完結する性格のものではない。議会では、国の責任で瓦れき処理の方法を決めることが必要であり、国の処理方針の立て方が基本的に間違っているとの議論もした。意見書案は賛成少数で否決となったが、これから少しでも東北の負担を軽くし、一日も早い復旧・復興に向け、できる限りの応援をするとの認識は、会派・党派に関係なく同じであると思っている。そのためにも国の責任で方向をしっかりと示すよう地方自治体から国へ意見を上げていくことが必要と考えている。</p>
<p>議会への要望</p>	<p>1 もっと市民のところに出かけて市民のことを理解しなければ、本当の市政はできないのではないか。</p> <p>2 防災に関しては、住民の危機管理意識が非常に重要</p>

	<p>であると思う。住民の意識とやる気を引き出すよう、議員から理事者側に叱咤激励してほしい。</p> <p>3 市役所職員の活力・能力を引き出すのも議員の役割であり、頑張ってもらいたい。</p>
市への要望	<p>1 広報くしろに市の財政状況が掲載されたが、財政の各種指標を掲載してほしい。また、一般会計歳出予算内訳での公債費と目的別歳出での公債費の金額が異なる理由を知らせてほしい。</p> <p>2 震災瓦れきの処理は国に責任を持ってもらうべきで、市の判断は正しいと思う。受け入れないとのことを今後も守るよう市長へ手紙を書こうと考えていたが、このことを市長へ伝えてほしい。</p> <p>3 釧路の放射線は総合振興局の庭の1メートルの高さで測定しているが、地域で国と道の測定結果は異なっているようであり、市でも対応してほしい。</p>

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 5 日（木） 14：00～15：30
開催場所	星が浦会館（大広間）
参加人数	19 人
出席議員	月田光明副議長（石炭対策） 土岐正人議員（座長・議会運営・総務文教） 松橋尚文議員（経済建設） 宮田 団議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：基礎学力向上に向けて、学校ごとの数値を公表すべきではないか。</p> <p>答：同様の議会議論があった。道は、平成 26 年度までに学力テストで全国平均以上を目指し、市は全道の平均以上を目標にしている。</p> <p>問：被災された方のことも考え、復興を助ける意味からも震災瓦れきを受け入れないのは疑問に思う。</p> <p>答：震災瓦れきには、国は 8000 ベクレル以下の瓦れきが含まれているとしていること、震災瓦れきが放射能の汚染の有無の分別がされていないこと、一次産業への風評被害や市民の安全安心を考慮し、市長は、瓦れきを受け入れないとしたことについて、賛成または反対の立場からさまざまな議論があった。</p> <p>問：フィットネスセンターの問題で、普段から利用していない議員が反対としたことには納得がいかない。また、M O O から出ているシャトルバスを大楽毛からでは利用できないので不公平ではないか。</p> <p>答：一昨年の事業仕分けで廃止の判定が出て、庁内で存続・廃止の検討がされたが、昨年廃止の方向性が示され、議会でも存続・廃止について相当な議論があった。結果、廃止に賛成が多数を占めた。M O O からのシャトルバスは一年間限定の激変緩和策である。</p>

	<p>問：介護予防の新たな施策として、ボランティアポイント制度導入の議論があったが、その後どのようなようになったか。</p> <p>答：市では、他都市の先進事例を研究したいとし、今のところ具体的には進んでいない。</p>
議会への要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 被災地に何が必要かを実際に見て聞いて、どんな支援が必要か考えてほしい。</li> <li>2 放射性物質が体内に入ってしまうと改善策はないと考えることから、分別できない震災瓦れきは受け入れない姿勢でいてほしい。</li> <li>3 これからの釧路の将来像の市民意見を議会できちんと取り上げるべきである。</li> <li>4 市税等5年未払いが続くと取り立てをしないというがとても不公平に思う。各部署の実情を踏まえ、より早く対策を進め、市の財政の健全化に努めるべきある。</li> </ol>
市への要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公園敷地内に議員や政党のポスターが設置されているがいかがなものか。</li> <li>2 旧道立西高校のその後の跡利用について市でも考えるべきではないか。</li> </ol>

議会報告会開催概要（音別地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 5 日（木） 14：00～15：25
開催場所	音別町コミュニティセンター（研修室）
参加人数	4 人
出席議員	黒木 満議長 菅野 猛議員（座長・議会運営・民生福祉） 山口光信議員（総務文教） 佐藤勝秋議員（経済建設・石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：エゾシカ被害対策について、草地の被害が大きく、広域柵の補修や、駆除への助成などを検討してほしい。</p> <p>答：ハンターの不足や、道と連携しなければならないなど、市単独では難しい部分が多いが、今後議論していきたい。</p> <p>問：市道の除雪について、ツルツル路面が多く通学路など危険な状態なので、歩道の対策をお願いしたい。</p> <p>答：除雪については、予算上の制約があることは否定できないが、除雪の基準については議論がされており、今後も議会で議論していきたい。</p> <p>問：津波の被害予測が公表されたが、災害時の避難道路の整備などをお願いしたい。</p> <p>答：道の津波シミュレーションについては、公表されたばかりであり、今後議会としても議論していきたい。また高速道路への避難の話なども出ているようなので併せて議論していきたい。</p> <p>問：合併により消防職員の音別町居住者が少なくなり、消防と救急の同時出動による呼び上げが難しくなるなど、勤務体制を考えなければ災害時の対処ができなくなる。音別地域は、白糠支署からの応援も 20 分程度かかるほか、過去 2 回の地震では道路が通行止めとなり、陸の孤島となったことがあるので考慮してほしい。</p>

	<p>答：消防体制については重く受け止める。地元のことをわかる職員が人事異動でいなくなることも合併に伴う良し悪しであると思うが、対策についても市と話していきたい。また災害時の避難等についても、高速道路を利用した避難など議論していきたい。</p> <p>問：都市経営ということに関して、収支の合わないところは切り捨てていくという手法は、行政にはそぐわないのではないか。事業仕分けについても、項目を見ると公立保育園など重要なものも多いと思うがどうか。</p> <p>答：市長の言う都市経営とは、行政の責務についての考えである。事業仕分けについても、事業を広く市民に知ってもらうという側面や、また、仕分け結果がそのまま事業の改廃につながるものではないと理解いただきたい。</p>
議会への要望	—
市への要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産者の支援など迅速に対応するため、農林課の体制を検討してほしい。</li> <li>2 合併により市有林が広くなったが、間伐事業の継続をお願いしたい。</li> <li>3 市有林の有効活用を進めるだけでなく、森林の持続可能な利用のため、植林事業も行ってほしい。また事業の実施に当たっては、支出金額だけを見るのではなく、事業による収入や、補助金などがあることを考えてほしい。</li> <li>4 職員の人事異動に関して、農林業に長けた人材の配置や、農林業の専門職を採用することはできないか。</li> </ol>



議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 6 日（金）14：00～15：35
開催場所	釧路市交流プラザさいわい（208号室）
参加人数	11人
出席議員	黒木 満議長 戸田 悟議員（座長・議会運営・経済建設） 松尾和仁議員（総務文教） 森 豊議員（民生福祉） 続木敏博議員（石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：道の津波シミュレーションが示されたが、市として今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>答：7月12日開催予定の臨時議会で、道のシミュレーションについても議論されることになると思う。また行政や警察、海上自衛隊などが連携した防災総合訓練を8月に実施する予定だが、津波発生時にはまず避難することが重要であり、その環境づくりも含め、具体的にはこれからの検討となる。</p> <p>問：市政方針で「ロマンのまち釧路」と言っているが、現状はほど遠い。駅舎の老朽化によって景観が悪く、北大通の活性化についても経済界が取り組んでいるが厳しい状況である。議会としても北大通の活性化に向け積極的な姿勢で議論してもらいたい。</p> <p>答：中心市街地の活性化は、議会において積極的に議論されているが、行政をはじめ経済界なども含め総合的に検討していかなければならない問題である。</p> <p>問：議会報告会に対する議員の認識を聞きたい。初日の報告会に遅刻した議員がいると聞いたが、全議員が本会議と同様の認識で臨んでほしい。</p> <p>答：議会報告会は、議会の最高規範である議会基本条例を根拠に実施しており、非常に重いものと認識してい</p>

	<p>る。ご指摘の件については、深くお詫びする。全議員がこれまで以上に認識を持って取り組んでいくものである。</p> <p>問：傍聴に関して、質問や答弁に関心が集まるよう、質問内容をもっと広報すべきではないか。</p> <p>答：議会報告会も議会の傍聴につながる取り組みの一つとして実施している。6月定例会では、町内会活動として傍聴された団体もあり、町内会にも呼びかけていきたい。また若い人にも関心を持ってもらうため、先日、釧路短期大学の学生を招いて議会報告会を行った。さらに、ホームページで議会ライブ中継も行っており、今後も一人でも多くの市民が傍聴に来てもらえるよう努めていく。</p> <p>問：委員会の傍聴についても、どういう話題が議論されるのかが分かると関心が高まると思うので、対応してほしい。</p> <p>答：議会の広報については、議会事務局や報道機関とも連携して進めていきたい。</p> <p>問：議会を傍聴していても、的を射ていない質問や答弁に対しての議員の反応が乏しく面白くない。これでは傍聴者は増えないと思う。</p> <p>答：議会は、議長の仕切りの中、厳格なルールの下で運営されており、議員全員が節度をもって臨んでいることをご理解いただきたい。</p> <p>問：本日、この議会報告会に来られない人もいるので、そういった人たちの小さな声が市政に反映されるよう取り組んでもらいたい。</p> <p>答：仰るとおりであり、今後もそういった声に耳を傾け取り組んでいきたい。</p>
議会への要望	<p>1 学力向上推進事業について、小学生の算数の成績が悪いのは、数学をしっかりと理解していない教員が教え</p>

	<p>ているからだと思う。専門的な教員が算数の指導をすべきだと思う。また英語の習得は、幼児期からの教育が大切と言われているが、国の教育制度の中で研究も含めて取り組んでもらいたい。</p>
<p>市への要望</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 除雪に関して、除雪車が排土板を上げ、雪をただ踏みつけていったという実態があった。しっかり除雪してほしい。</li> <li>2 総合防災訓練を見学したが、市民が参加するという形ではなく、関係機関との連携が主となっているようだが、市民にどのような役割を求めているのか。</li> <li>3 東日本大震災を目の当たりにして思ったが、全市民が一斉に避難するシミュレーションをすべきと考えるがどうか。</li> </ol>

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 6 日（金） 19：00～20：00
開催場所	釧路市交流プラザさいわい（208号室）
参加人数	3人
出席議員	月田光明副議長（石炭対策） 高橋一彦議員（座長・議会運営・経済建設） 渡辺慶藏議員（総務文教） 金安潤子議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：議会報告会への参加者に対し、どのような関わり方を期待しているのか。</p> <p>答：さまざまな地域の現状や課題に関する普段の疑問等を発言していただき、釧路市をよくするための議論を行うことで方向性が見出せるとよいと思っている。今後も参加していただき、率直な意見を出してほしい。議員は市民の代表であり、市政に伝えるパイプ役として頑張っていきたい。</p> <p>問：くしろ 20 歳のつどいの会場変更には事情があると思うが、北大通のにぎわいづくりに配慮すべきではないか。</p> <p>答：成人式のあり方を含め財政面から会場が変わったが、今年は荒れた成人式となり、式のあり方については、酒類持ち込みのチェック体制を含め、運営体制の見直しを検討していくこととなっている。</p> <p>問：震災瓦れきを受け入れないということについては、条件付きとするのであれば別だが、一方的に感じるがどうか。</p> <p>答：震災瓦れきに関する意見書案が否決となったが、7 会派中 4 会派が反対、3 会派が賛成であった。同趣旨の意見書が道議会では全会一致で可決されたが、市議会では、特に水産関係者等から風評被害を懸念する声</p>

	<p>があることを受けて否決となった。釧路市では最初は震災瓦れきの受け入れを表明していたが、放射性物質に汚染されたものが前提となった中では受け入れしないと意思表示してきた経過がある。復興を支援したい思いは皆にあるが、それを妨げているのは放射能であり、気持ちだけでは難しい問題である。国がもっと責任を持って対応することを望んでいる。</p> <p>問：津波警報時に橋が通行止めになり、高台方向へ避難することができなかったが、改善できないのか。</p> <p>答：昨年の大津波警報時は橋が全て通行止めとなり、市民から色々な声が出された。警察や開発建設部や市等の協議会で議論した結果、高台方向への通行は可能とし、中心部方向への通行は防災関係者以外は禁止とすることとした。</p>
<p>議会への要望</p>	<p>1 1 議会報告会には市議会に興味がない人にも来てもらうことが大事だと思うので、もっと市民にアピールできるものを期待したい。</p> <p>2 参加者が少なく残念である。自分を含め、周りにもう少し声をかけて参加すればよかったと思っている。</p>
<p>市への要望</p>	<p>—</p>

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 8 日（日） 14：00～15：00
開催場所	鳥取南会館（大広間）
参加人数	1 人
出席議員	月田光明副議長 大島 毅議員（座長・議会運営・経済建設） 畑中優周議員（総務文教・石炭対策） 上口智也議員（民生福祉）
質疑応答の内容	問：PFIとは、どういう内容なのか。 答：市内、19の小中学校対象に耐震診断と耐震補強工事を今年度と来年度に発注を行う。民間の資金を活用して、工事を進め、市が完成後10年から15年で工事費用を返済していくものである。 問：津波避難場所として、学校の屋上を使用できないか。 答：議会でも議論があり、学校には屋上がない、そこへフェンス等の設備設置は難しいのが現状である。市では避難所確保のため、民間のアパート・マンション等を一時避難場所として指定できるよう協力要請をしている。
議会への要望	1 議会報告会の周知について、案内するだけでなく、あらかじめ参加数を把握する、事前に資料を配布するなど参加する側の実情を踏まえ対策を取れないか。 2 委員会審査の傍聴ができることを知らなかった。 3 請願、陳情等の提出方法を知りたい。
市への要望	1 広報が少し足りない。節電方法を具体的に示すことや主要施設の案内表示などが足りない。

議会報告会開催概要（阿寒地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 8 日（日） 14：00～15：40
開催場所	阿寒町公民館（視聴覚室）
参加人数	14 人
出席議員	黒木 満議長 村上和繁議員（座長・議会運営） 石川明美議員（総務文教） 鶴間秀典議員（経済建設・石炭対策） 松永征明議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：阿寒病院の今後の方向性として、どのような議論になっているのか。</p> <p>答：院内でプロジェクトチームが作られ、まずは院内の改革を進めることとなる。また、コンサルタントなど第三者を入れて検討してはどうかという話も出ているところである。</p> <p>問：アイヌシアターがオープンしたが、採算はとれる見通しなのか。</p> <p>答：設計段階から議会でも議論されている。現在、運営団体においてさまざまな取り組みを行っており、その動向を注視していきたい。</p> <p>問：阿寒本町に関するものとして、どのような振興策が検討されているのか。</p> <p>答：阿寒町については、道路整備、観光・農林業の振興が挙げられるが、具体的に進められているものとしては特に承知していない。なお、平成 27 年度に阿寒インターが開通の予定となっているので、関連して阿寒本町の振興についての計画を練っていきたい。</p> <p>問：阿寒湖畔地区で地熱発電の話があったが、科学的根拠をもって可否を判断すべきと考える。また、他の地域でも検討すべきではないか。</p>

	<p>答：地熱発電については、阿寒湖畔では温泉やマリモへの影響が懸念されることから、調査には同意しないこととなった。それ以外の地域については、特に話が出ていない状態である。</p>
議会への要望	<p>1 市民協働というが、阿寒病院やフィットネスセンターの問題を見ると、市民の声を聴いているのか疑問である。議会はしっかりと市政を見て、また、議員が直接現地に入って市民の声を聴いてほしい。</p> <p>2 地域振興のためには、生産だけではなく加工も大事と考える。酪農、農産品の技術振興を図ってほしい。</p>
市への要望	<p>1 合併してから、議会が遠くなったと感じている。必要な情報はホームページでも見られるとのことだが、高齢者はパソコンには疎く、また議会の傍聴にもなかなか行けない。議会傍聴のためのバスを市で出してもられないか。</p> <p>2 赤いベレーの水風呂の温水が数日前から止まっている。経費削減のため止めたのか。いずれ赤いベレーも民営化になるのではと不安をおぼえる。</p> <p>3 市役所に問い合わせをしても、本庁と行政センターで見解が異なり、困惑することがある。</p>